

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2021年度 第2回理事会

議事録

日時：2021年12月19日（日）16：00～17：30

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、隅野礼雄、大日方邦子、荒井秀樹、夏目堅司、渡辺孝次、二星謙一、岩間秀子、新田佳浩、狩野亮、桜本利幸、東海林志朗、鹿島（吉龍）忍、田原麗衣、小林（井口）深雪（18名）

委任出席者：安藤佳代子、山口聖子、高浜成行、小林清美、辻村和見、（5名）

欠席者：中村勝彦、中村実彦、井上真司、石原勝広（4名）

欠席監事：大内智、宮田隆司（2名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、27名中出席23名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会長の挨拶に続き会議が開始された。

【審議事項】

（1）2021年度連盟の新体制について

保科：鹿島理事を総務委員会から外して、ダイバシティ委員会の活動に集中させたい。ウエア担当は、新しい委員として梶村さんを推薦します。

隅野：広報委員会では内海さんの後任としてメディア対応を新しい委員にお願いしたい。広報委員として月足さんを推薦します。月足さんにはスポンサーケアもお願いしたい。

保科：田原理事の兼任が多いので、ダイバシティ委員と普及委員から外れてもらいます。情報・医・科学委員会の名称を医科学情報委員会に変更して、委員長は大日方さんに兼務してもらいたい。

大日方：選手委員会の委員として月足さんを推薦します。ファシリテーター役として活動してもらいたい。

保科：ダイバシティ委員会は現在普及本部傘下ですが、役割がガバナンス等に重きを置いているので管理本部の傘下に変更したい。安藤普及本部長と鈴木管理本部長には了承をもらっています。

石丸：ダイバシティ委員会の管理本部への移動と医科学情報委員会の名称変更に伴い、事務分掌規程の改定も必要になります。

議長：配布資料に示された新体制と新体制に伴う事務分掌規程の改定について承認を求めたところ全員一致で承認された。

（2）令和4年度のくじ助成事業の予算について

古市：障害者普及講習会（たかつえ）については、予算書上参加者数に対して役員数が多くなっているが今回からチェアスキー協会主管ではなくして、VIも含め広く参加者を募集する形で実施する方向で事業担当者とお話を進めています。

東海林：北海道普及講習会は例年通りの予算作成を行いました。参加者が減少傾向にありますので、参加者を増やすように努力します。

荒井：クロスカントリースキー講習会については、例年通りの予算編成と実施を考えています。

東海林：ID講習会は2021年20名程の参加者でしたが、23年度は30名の参加を見込んで予算作成しました。

椎名：今後は実施した内容を理事会に報告して、何をどのように行ったのかを分かるようにしてほしい。

議長：令和4年度のくじ助成事業の予算について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) 令和4年度の基金助成事業の対象事業と予算承認プロセスについて

石丸：基金助成事業の募集が1月中旬にあります。申請締切が次回の理事会では間に合わない可能性があるため、予め今回の理事会で承認プロセスを審議しておく必要があります。

保科：後で詳細を話しますが、22年の札幌ワールドカップが中止の方向で動いています。23年に再度開催の見込みですので、ノルディックの国内大会は基金助成では開催出来なくなります。

椎名：令和4年度の基金助成の対象事業は22年度と同じ大会で申請することと、予算については常任理事会の決定を進めることを承認してもらいたい。

議長：令和4年度の基金助成事業の申請の流れについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) 事務局員の採用について

石丸：現在派遣社員で事務局勤務の鈴木愛弓さんが、派遣開始から3年になります。本人の意思確認を行い直接雇用に切替えるようにしたいと思います。パート勤務を希望していますので、週3回勤務の時給制になります。就業規則上、理事会の承認が必要ですので審議をお願いします。

議長：事務局員の採用について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(5) スノーボード北京パラ女子種目の署名活動について

二星：スノーボードの女子LL1の選手が少なく北京パラでは女子のLL1が種目から除外される動きがあります。アメリカチームからLL2と一緒にLL1の選手も参加出来るようにIPCに申し入れをしたいと署名活動に協力を求められています。

12/16のダイバシティ委員会でも話を方向性は了解してもらいました。次回のIPC会議までに提出したいと思っています。

議長：アメリカチームの署名活動に協力することについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 北京パラリンピック代表選手推薦について

大日方：北京パラリンピック代表選手の JPC への 2 次推薦以降の流れについて説明。AS は 12/23 に AS 委員会から推薦選手が強化本部に報告される予定。NS は 12/16 に 3 次推薦選手を公表済です。1 月に推薦条件を満たした選手の推薦がノルディック委員会から強化本部あてに行われます。SB 委員会からは 12/22 に推薦選手の報告が強化本部に行われる予定です。選考委員会で承認された選手を常任委員会で承認して JPC に推薦します。

(2) 22 年 WPNS 札幌 WC、AS ジャパラ（菅平）、AS の NC（野沢温泉）について

保科：22 年 WPNS 札幌 WC は北京パラの後に最終戦として計画してました。札幌市と協力して札幌オリンピックの 50 周年事業、30 年のオリパラ招致事業として準備を進めていましたが、主要な予定参加国からキャンセルの申し入れがあり、大会を中止する方向で IPC と協議中です。23 年には開催出来るように考えています。

アルペンの IPC 公認ポイントレースとして 3/30~31 に菅平でジャパラ (SG2 レース) を、4/4~7 に野沢温泉で NC (GS2 レース、SL2 レース) を開催します。

23 年はアルペンとスノーボードの WC は開催予定はありません。

(3) JSC の競技団体役員向けインテグリティ研修について

石丸：11 月 26 日に JSC 主催で新任の競技団体役員向けのインテグリティ研修がありました。理事・監事の役割等分かりやすく説明がありました。皆さんには配布した研修資料に必ず目を通していただくようお願いします。

ドーピング通報窓口と暴力・ハラスメント相談窓口についてはアスリートに伝えるように指示がありました。1 月にはアンケート調査も行われます。

(4) ゴールドウイン社とのサプライヤー契約更新について

保科：22 年でゴールドウイン社との契約は終了します。ゴールドウイン社の他、デザートとミズノの 3 社でコンペを行おうとしたがデザートとミズノはおりました。ゴールドウイン社とは今後 4 年間（ミラノ・コルティナまで）のサプライヤー契約を新たに締結することになります。契約内容については連盟から見直しを要望しており来年の 3 月までに確定させる予定です。

(5) 日本財団パラリンピックサポートセンター名称変更について

石丸：日本財団パラリンピックサポートセンターが 1 月 1 日より日本財団パラスポーツサポートセンターに名称変更すると案内がありました。今後助成金対象事業では新しいロゴを使用するようにお願いします。

【その他】

* VIRTUS 世界選手権の延期について

東海林：VIRTUS より 22 年の世界選手権が延期の可能性が高いとの報告がありました。
正式決定の通知は未だ届いていません。

* 事務局の年末年始と 1 月からの勤務体制について

石丸：事務局の年末年始の休業期間は 12 月 29 日から 1 月 4 日までです。
12 月までは週 1 日の出勤でしたが、1 月からは常勤者は週 2 回、パート勤務者は月
4~6 日出勤して事務局で作業を行う体制にします。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2021 年 12 月 19 日

議事録署名人

議 長 椎 名 茂

議事録署名人 古 市 隆 一

議事録署名人 隅 野 礼 雄